

2月15日

テーマ：イエスのことを^{かんが}考えなさい

聖書箇所：ヘブル人への手紙^{てがみ しょう せつ}3章1節

◆今日のみことば

そういうわけですから、天の召しにあずかっている聖なる兄弟たち。私たちの告白する信仰の使徒であり、大祭司であるイエスのことを考えなさい。

ヘブル人への手紙^{びと てがみ しょう せつ}3章1節

◆メッセージ



自分に宛てた手紙が届くとうれいしいですよ。何が書いてあるのだろうと、しっかり読むとおもいます。このヘブル人への手紙を書いた人は、読む人にイエスさまを信じているということが、どれほど大切で、すばらしいことなのかをよく知ってほしいと願っているのです。

いまの私たちの生活は、楽しいことや宿題や、やることがいっぱいあって、イエスさまのことを忘れてしまうことがあるかもしれません。

でも教会やバイブルキャンプで、神さまのひとり子イエス・キリストが私の罪をゆるすために代りに十字架で死んでくださった、ということを知り、感謝しさんびするために、毎週教会へ行って礼拝しています。

十字架で死なれたイエスさまは、三日目によみがえり、今、天にいて私たちのためにいつも祈ってくださるのです。このイエスさまのことを忘れないで、いつも考えてほしいと、この手紙は伝えているのです。二千年前にこの手紙を読んだ人たちと同じように、私たちもイエスさまのいる天の国を^{てん くに め}目指しているのです。



◆お祈り

「いつもイエスさまのことを大切に^{たいせつ}にし、イエスさまのことを^{かんが}考えるようにしてください。」

(支援教師 朝岡満喜子)